

市では、市内の学校に通う児童・生徒に小諸のことをより知ってもらうため、副読本として「こもろヒストリー」を作製しました。
ここでは、その一部を連載してお伝えしていきます。

HISTORY No. 10 戦後の復興



戦争が終わって 15 年ほど経ったころ

民主化教育

新しく「社会科」という教科ができ、小学校の「家庭科」は、男女ともに勉強するようになりました。「自由研究」も時間割の中に加えられました。
戦前の教科書は国が決めていましたが、戦後は民間の会社が作ったものを選んで使うようになりました。
中学校が義務教育となって、新しく中学校が建てられました。各学校では、児童会活動や PTA 活動、地域では、公民館活動が始まりました。



昭和 33 年（1958 年）の相生町

小諸町から小諸市へ

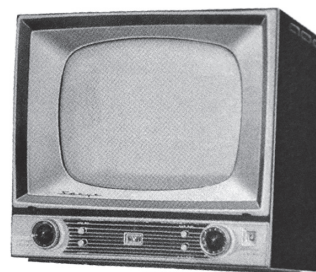
昭和 29 年（1954 年）、すでに北大井村、大里村、川辺村を合併していた小諸町に、三岡村と南大井村が一緒になって、小諸市が生まれました。

高度経済成長の時代へ

経済が成長して、生活が豊かになっていき、家庭でさまざまな電化製品を使うようになりました。

1950 年代の後半は、電気釜、白黒のテレビ、冷蔵庫、洗濯機があこがれの商品でした。

1960 年代になると、カラーテレビ、クーラー、自動車がしだいに普及していきました。



【白黒テレビ】



小諸学
KOMORO GAKU

超大作

全12回

私が住むまち

小諸の歴史

K O M O R O
H I S T O R Y
歴史の なかに、 未来の ひみつが 横た わっている

こもろ未来プロジェクトシリーズ